地域と医療で咲くコミュニケーション

# あまが咲だより

2015
9月
No.16

兵庫県立尼崎総合医療センター

統合新病院
「兵庫県立尼崎総合医療センター」
（尼崎市）

[部門紹介]

## 看護部
## 「～One More（ワン・モア）の看護をめざして～」

「診療科ブロックに分かれた外来エリア」

[各科紹介] 産婦人科・心臓血管外科

●尼崎市歯科医師会 会長からの“ひとこと”　●ぶらり～っと病院探訪
●スタッフのつぶやき　●来院アクセスに関してのお願い！

部門紹介
# 看護部

# ～One More（ワン・モア）の看護をめざして～

平成27年7月1日、尼崎病院と塚口病院が統合され、尼崎総合医療センターがとして開院いたしました。ER救命救急センター、PICU（小児重症集中ユニット）、総合周産期医療センターを整備し、更なる高度医療の提供をめざした730床、42診療科の大規模病院に生まれ変わりました。「情熱的でアクティビティの高い尼崎病院」、「丁寧で優しく堅実な塚口病院」という異なるイメージで地域の皆様に親しまれてきた両病院ですが、それぞれの長所を活かしながら、「尼崎総合医療センターとして」新たな組織を創る一歩が始まったことを実感しています。

副院長 兼 看護部長
**箕浦 洋子**
京都大学医療技術短期大学部卒
兵庫県立大学大学院経営研究科修了
兵庫県立大学看護学部臨床教授
藍野大学医療保健学部看護学科臨床教授
日本看護協会認定看護管理者

副院長（看護人材担当）
**平山 ミツヨ**

## ◉患者さんの笑顔をめざした病院創り

当院では、救急部門、手術部門、外来部門、病棟部門、検査部門など、約1000名の看護師が看護ケアに携わっています。旧尼崎病院、旧塚口病院の職員に加え、沢山の新規採用職員が一致団結して、部署で起こっている問題解決に取り組み、“患者さんが笑顔になる”新しい病院創りを行っています。

## ◉チーム医療における協働と調整を担います

昨今は、短い入院期間でより複雑で効率的な医療提供を求められており、各職種がそれぞれの力を十分に発揮しながら患者さんにかかわる「チーム医療」が推進されています。当院では、各科診療科チームをはじめ、診療をサポートする様々なチームや委員会が設置されています。その中で看護師は、患者さんの置かれている状況を多方面から判断し、必要な医療が提供されるように医師や他職種と協働しながら調整を行う役割を担っています。

## ◉更なるスキルアップのために

私たち看護師は、患者さんの傍にいる最も身近な医療者として患者さんを見守りながら、患者さんの持つ自己回復力を全力でサポートしたいと思っています。そのために、「連続性」「継続性」「将来性」を考慮したキャリア開発教育プログラムにより更なるスキルアップを行い、患者さんとともに考える“One　Moreの優しさ”を持った看護ケアを実践していきたいと思っています。

産婦人科

# 女性と赤ちゃんを守ります！

## 新病院となってこれからは…

総合周産期母子医療センターでは、24時間体制で産科・周産期疾患に対応していますので出産時のトラブルにも即座に対応し母体搬送も常時受入れています。婦人科救急疾患には、救急科・ER総合診療科と連携して対応しています。婦人科悪性腫瘍の治療や内視鏡手術を積極的に行い、産婦人科診療を幅広く行っています。地域中核病院の産婦人科として、皆さんから信頼される存在でありつづけるよう、スタッフ一同、日夜奮闘し、また、優れた人材の育成をめざします。

産婦人科部長

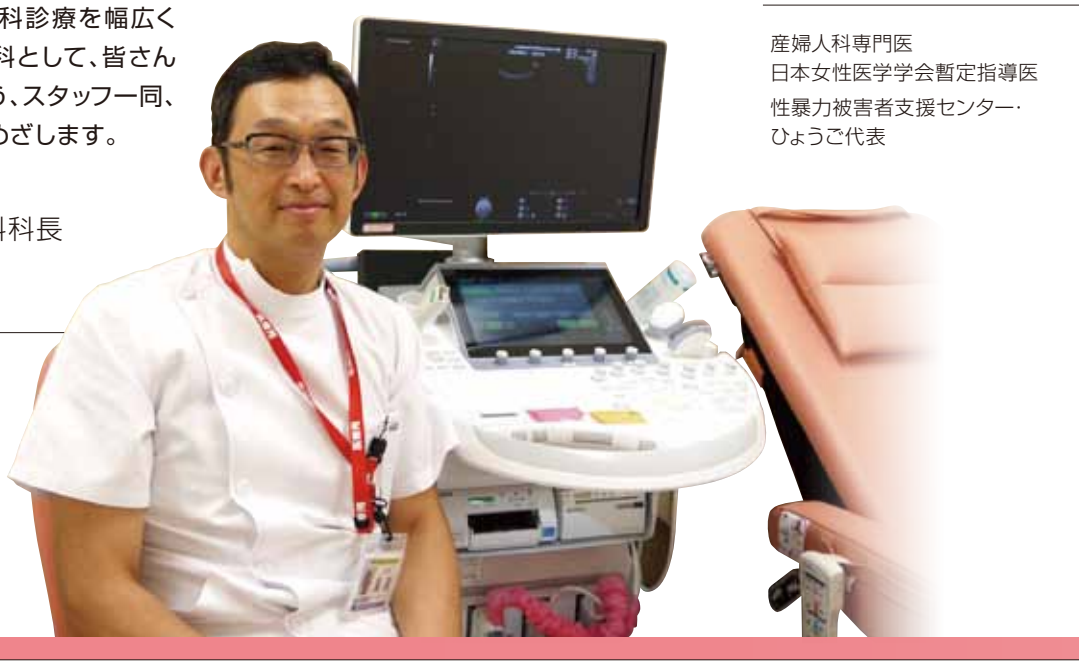
**田口 奈緒**

産婦人科専門医
日本女性医学学会暫定指導医
性暴力被害者支援センター・ひょうご代表

輸血担当部長　兼　産婦人科科長

**廣瀬 雅哉**

産婦人科専門医・指導医
周産期専門医・指導医（母体・胎児）
臨床遺伝専門医・指導医
細胞診専門医・指導医
新生児蘇生法「専門」コース
インストラクター



心臓血管外科

# より手厚く、より迅速に、心臓手術が行える体制に

## 対象とする主な疾患と治療

### 複雑な先天性心疾患（生まれつきの心臓の病気）と成人先天性心疾患

当科は昭和43年（1968年）開設以降約50年間、先天性の心臓病治療で日本をリードしてきました。小児では複雑な形態の心臓病が多く、小児循環器科（小児の心臓を専門とする診療科）との密接な連携を通して正確な診断、治療を行っています。また、歴史の長い診療科であり、成人期に達した先天性心疾患（成人先天性心疾患）の方々に対する治療経験が豊富なことも特徴のひとつです。

### 小切開手術、低侵襲治療

先天性心疾患では、単純心奇形（心室中隔欠損、心房中隔欠損など）に対する小切開手術を得意としています。
高齢者では心臓以外の病気をお持ちの方や、早期の社会復帰を望まれる方に対して、出来るだけ侵襲性の低い（体に優しい）低侵襲治療にも積極的に取り組んでいます。現在行っている人工心肺を使用しない冠動脈バイパス手術、小切開弁膜症手術、大動脈ステントグラフト治療に加えて、新たに設置したハイブリッド手術室で大動脈弁に対するカテーテル治療も行う計画にしています。

## 対象とする疾患

新生児から高齢者まで、ほとんどすべての心臓疾患の外科治療に対応

### 先天性心疾患

完全大血管転位、総肺静脈還流異常、単心室などの複雑心奇形に対する継続的外科治療。心室中隔欠損、心房中隔欠損などに対する小切開手術。複雑な心疾患の治療後成人期に達した成人先天性心疾患に対する外科治療。

### 後天性心疾患

狭心症に対する冠動脈バイパス手術。
弁膜症に対する弁形成術、人工弁置換術。
大血管疾患（胸部大動脈瘤、腹部大動脈瘤、大動脈解離）に対する人工血管置換術。

産婦人科部長

## 鈴木 尚子

産婦人科専門医
周産期専門医専門医
（母体・胎児）

後列左から：矢野医師、今井医師、上田医師、廣瀬医師
前列左から：田口医師、鈴木医師、川原村医師

### 紹　介

外来は、産科外来と婦人科外来が別になっており、また、多くの女性医師が外来診療を担当していますので、妊婦さんも婦人科疾患の患者さんも安心して受診していただけます。産科病棟は個室が10床あり入院生活をゆっくり過ごしていただけます。夜間・休日も充実した診療体制をとっていますので、安心して出産、手術、治療を受けていただけます。

### 対象とする主な疾患

①産科・周産期疾患（妊娠合併症、合併症妊娠など）（総合周産期母子医療センター）
②正常（ローリスク）妊娠・分娩（メディカルバースセンター、産科セミオープンシステム）
③胎児疾患（先天性心疾患、新生児外科疾患、胎児治療対象疾患など）
（総合周産期母子医療センター、胎児診療外来）
④出生前診断、遺伝カウンセリング（NIPT外来、出生前診断外来）
⑤婦人科救急疾患、良性疾患に対する診断・治療（腹腔鏡下手術、子宮鏡下手術など）
⑥婦人科悪性腫瘍に対する診断・治療
（CIN外来、放射線治療科、外来化学療法室など）

心臓センターは循環器内科も加わって循環器センターとなり、より強力なチームに生まれ変わりました。設備の面から言うと、心臓手術前後の集中治療を行うCICUは8床から10床に増え、心臓専用手術室を2室設け、また造影検査やカテーテル治療を外科手術と同時に行うことができるハイブリッド手術室も設置しました。これらによって、より手厚く、迅速に、多岐にわたる疾患に対応できる体制が整いました。

また、県立塚口病院との統合によって新生児科、小児外科、産科などの周産期医療チームも加わり、胎児診断からの患児の治療などシームレスな医療を提供することも可能となりました。阪神地区にとどまらず、広域の循環器医療に取り組んでまいります。

副院長・心臓血管外科科長

## 藤原 慶一

**●専門診療分野：先天性心臓血管外**
日本外科学会専門医、指導医
日本心臓血管外科学会専門医、修練指導責任者
日本循環器学会専門医

後列左から：元永臨床工学技士、岡田医長、大野部長、渡辺医師、村山医師
川崎医師、植野医長
前列左から：藤原科長（副院長）、吉澤医長

心臓血管外科部長

## 大野 暢久

**●専門診療分野：成人心臓血管手術全般**
日本外科学会専門医
日本心臓血管外科学会専門医、修練指導者

県立尼崎総合医療センターへ

# ひとこと

## ★ときめき★
## 新病院に期待を寄せて

一般社団法人尼崎市歯科医師会 会長　重岡 潔さん

新病院のグランドオープン、誠におめでとうございます。私達尼崎市歯科医師会にとっても、新病院に歯科口腔外科が開設されたことは喜びに堪えません。当初県立尼崎病院と県立塚口病院の統合再編計画が持ち上がった時「尼崎病院と塚口病院の統合再編検討報告書」（平成21年）の中には、歯科口腔外科に関する記載は一切ありませんでしたが、その後の要望等の結果、藤原院長はじめ病院当局・県行政・尼崎市医師会等関係者の皆様のご理解を得、県立塚口病院での歯科口腔外科プレオープンを経て今回の新病院でのオープンとなりました。

県下でも有数の規模と設備を持つ病院歯科ですので、私達一次歯科医療を担うものにとって期待も大きく、口腔腫瘍等の高次口腔外科医療の提供はもちろん、全身疾患をお持ちの患者さんの安心安全な歯科治療、抜歯後出血等の緊急対応、顎顔面外傷、顎関節症の外科的治療、障がい者の方の全身麻酔下での歯科治療、入院患者さんの周術期口腔ケア等々が新病院で提供されることが、県民の皆様にとって大きな福音となることを確信しております。

それにとどまらず新病院の歯科口腔外科には地域の歯科医療の質の向上のため、歯科と医科の医療連携を深めるキーポジションとしての機能を担って頂くことも期待されるところであり、当歯科医師会も尼崎市病診連携協力歯科医会を発足させ万全の協力体制を敷いているところです。今後より一層の連携強化をお願いし、貴院の益々のご発展を祈念いたします。

# ぶらり～っと 病院探訪

## 癒しの空間「庭園」

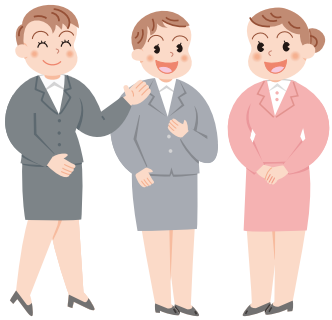
ライオンズクラブ寄贈

県立尼崎総合医療センター内では、「病院らしくない空間」として**“癒しとほほえみ”**の雰囲気を醸し出している場所が幾つかあります。その一つが、中庭庭園です。既に来院された方は、お気づきかと思いますが、1階玄関ホールの奥（カフェの横）と2階の外来診察（眼科・小児科ブロック付近）の吹き抜けエリアで、院内には2つの庭園があります。

1階庭園（テーマ：癒し／尼崎武庫ライオンズクラブから受贈）内にはイロハモミジやドウダンツツジなど様々な植栽がなされ、本格的な日本庭園となっています。また、2階庭園（テーマ：ほほえみ／尼崎ライオンズクラブから受贈）内には、小鹿・リス・うさぎなどの小動物の置物が、様々な植栽の間から見え隠れしています。

これらの庭園は、それぞれのテーマに沿って異なった趣に仕上っています。診療の待ち時間などに、訪れてみていただきたいと思います。

スタッフのつぶやき



# 医療秘書って…。

眼科担当：高岡三千代
脳神経外科担当：新開久美子

## 皆さんは、医師事務作業補助という職種があることをご存じですか？

院内では「秘書さん」と呼ばれ、先生方が診療に集中できるよう、主に事務的な仕事のフォローする職種です。外来診察における患者様の対応、診断書の作成、先生方のスケジュール管理など…業務内容は様々です。新病院になって電子カルテや業務運用が大きく変わり、疲れからため息をつく日も多いです。しかし、一日の終わりに先生方からの「お疲れさん！」「今日も有り難う」の言葉や、患者様からの「ありがとう」の言葉に励まされ、日々頑張っています。今のところは、受付の方々と似た制服で分かりにくいかもしれませんが、見かけたら気軽にお声をかけて下さい。

# 来院アクセスに関してのお願い！

ごめんなさい…
ただいま満車です

## 駐車場が混み合い、ご迷惑をおかけしています。

当センター駐車場の最終完成（約650台）は、平成29年1月頃を予定しています。それまでの間、駐車台数は約260台と限りがありますので、ご来院の際は、できるだけ公共交通機関（バス・電車）等のご利用をお願いいたします。

### 阪急電車をご利用される方

阪急塚口駅より
- 13番（または、13-2番）　阪神尼崎行き → 尼崎総合医療センター ※13-2番は正門前（敷地内）にも停車します。

### 阪神電車をご利用される方

阪神尼崎駅より
- 13番（または、13-2番）　阪急塚口行き
- 43番　宮ノ北団地行き
- 43-2番　武庫営業所行き

→ 尼崎総合医療センター ※13-2番は正門前（敷地内）に停車します

### JRをご利用される方

JR尼崎駅より
- 50番（または、50-2番）　阪神出屋敷行き
- 50-3番　尼崎総合医療センター正門前行き

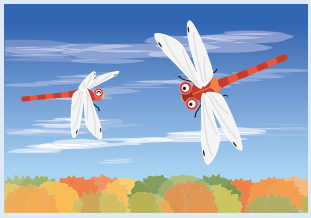
→ 尼崎総合医療センター ※50-3番は正門前（敷地内）に停車します。

JR立花駅より
- 43番　阪神尼崎行き → 尼崎総合医療センター

# 編集後記

暦の上では、「処暑」「白露」と、まだまだ暑さは続きますが、秋の気配も漂う季節の変わり目です。朝夕の冷え込みに加え夏バテの出るこの時期、体調管理には十分気をつけましょう。

毎月発行の「あまが咲だより」では編集後記を通して季節、気候の移り変わりを結構細かく表現する機会が多いですね。同様に発足間もないこの大きな病院そのものの情報も細やかに発信して読者の皆様に一層のご愛読をいただきたいと思います。　（T.K）



兵庫県立尼崎総合医療センター
Hyogo Prefectural Amagasaki General Medical Center (Hyogo AGMC)
〒660-8550 兵庫県尼崎市東難波町二丁目17番77号　TEL 06-6480-7000（病院代表）　FAX 06-6480-7001
URL：http://agmc.hyogo.jp/

兵庫県立尼崎総合医療センター　検索

発行　兵庫県立尼崎総合医療センター　企画協力・デザイン・印刷　兵田印刷工芸株式会社